

令和3年度第1回^{もり}森林の未来を考える懇談会資料

令和2年度森林環境基金事業の 実績について

- 令和2年度森林環境基金事業の枠組(実績)
- 令和2年度森林環境基金事業 実績一覧表
- 令和2年度森林環境基金事業の実績について

令和3年7月13日

福島県農林水産部森林計画課

令和2年度森林環境基金事業の枠組(実績)

森林環境税 税込額 11.39億円 (11.57億円)
 【個人事業者・給与所得者 9.26億円 法人 2.13億円】

県・市町村の徴収取扱費(税込の7%)
 0.80億円 (0.81億円)

基金繰入額 10.59億円 (10.76億円)

森林環境基金 13.57億円 (11.98億円)
 【繰入額 10.59億円 + 前年度未残高 2.98億円】

他財源の活用 0.04億円 基金充当 10.03億円
令和2年度事業費 10.07億円 (9.48億円)

**森林の未来を考える
懇談会
意見・事業評価**

県事業 7.12億円 (6.79億円)
 【基金充当額 7.08億円、その他財源 0.04億円】
 事業費ベース 70.7% (71.6%)
 基金充当額ベース 70.6% (71.0%)

市町村事業 2.95億円 (2.69億円)
 【基金充当額 2.95億円、その他財源 0.00億円】
 事業費ベース 29.3% (28.4%)
 基金充当額ベース 29.4% (29.0%)

<p>森林環境を保全するための事業 642,019千円 (626,109千円)</p> <p>1 森林環境の適正な保全 455,686千円 (426,895千円) ・水源かん養など機能の低下が懸念される森林整備等 ・森林の若返りや広葉樹林化のための再造林の支援 ・里山林の環境整備 ・施業集約化を促進するための支援 ・森林クラウドの運用</p> <p>2 森林資源の活用による持続可能な社会づくり 186,333千円 (199,214千円) ・間伐材の搬出支援 ・森林整備を促進するための路網整備 ・木質バイオマスの利用促進 ・CO2削減と風評私状に向けた県産材の普及PR ・公共施設の木質化と木育活動の推進 ・木材利活用拡大に向けた新たな可能性への取組 ・地域に適した技術の継承による森林資源の活用</p>	<p>森林づくりの意識を醸成するための事業 69,544千円 (52,508千円)</p> <p>4 県民参画の推進 58,829千円 (38,971千円) ・森林環境学習に必要なファクトの整備 ・指導者の育成や森林ボランティアセンターの運営等 ・森林ボランティアや企業による森林づくり活動の支援 ・県立学校における森林環境学習等 ・幼少期や青年期を対象とした森林環境学習等 ・流域の交流等様々な形で森林の理解を深める取組 ・森林環境情報の発信や森林づくり活動の拡大 ・ふくしま植樹祭の開催</p> <p>5 ふくしまの森林文化の継承 5,136千円 (9,982千円) ・県内の森林文化の継承に向けた記録と体験の取組</p> <p>6 森林環境の調査 4,914千円 (1,350千円) ・森林の公益的機能の調査と発信</p> <p>7 森林環境基金の運営 665千円 (2,203千円) ・森林の未来を考える懇談会の開催</p>	<p>森林環境を保全するための事業 106,607千円 (82,120千円)</p> <p>3 森林環境交付金事業 (2) 地域提案重点枠 106,607千円 (82,120千円) (事業の対象分野) ア 県産材の利活用推進 イ 木質バイオマスの利活用推進 ウ その他</p>	<p>森林づくりの意識を醸成するための事業 188,717千円 (187,030千円)</p> <p>3 森林環境交付金事業 (1) 森林環境基本枠 188,717千円 (187,030千円) ・全ての市町村が継続的に森林づくりに取り組む財源 (事業の対象分野) ア 県民参画の推進 イ 森林の適正管理推進 ウ 森林環境学習の推進 エ 森林整備の推進</p>
--	---	--	---

※()書きの金額及び割合は令和元年度実績

令和2年度森林環境基金事業 実績一覧表

○基金充当事業

単位:千円

施 策 区 分	事 業 名 (小 事 業 名)	担当課(室)	令和2年度事業実績		令和元年度事業実績		増 減		基金繰入 対前年比 (a)/(b)	備 考		
			事業費	財源内訳 基金繰入金(e) 国庫等	事業費	財源内訳 基金繰入金(b) 国庫等	事業費	財源内訳 基金繰入金 国庫等				
1	森林環境の適正な保全		455,686	451,974	3,712	426,895	405,749	21,146	28,791	46,225	△ 17,434	111.4%
	(1)森林整備事業		404,679	404,679	0	325,390	325,390	0	79,289	79,289	0	124.4%
	(森林整備事業)	森林整備課	345,303	345,303	0	312,894	312,894	0	32,409	32,409	0	110.4%
	(森林資源造成支援事業)	森林整備課	59,376	59,376	0	12,496	12,496	0	46,880	46,880	0	475.2%
	(2)里山林整備事業	森林保全課	35,585	35,585	0	30,820	30,820	0	4,765	4,765	0	115.5%
	(3)森林整備地域活動支援交付金事業	森林計画課	5,569	1,857	3,712	5,929	1,976	3,953	△ 360	△ 119	△ 241	94.0%
	(4)森林環境適正管理事業	森林計画課	9,853	9,853	0	64,756	47,563	17,193	△ 54,903	△ 37,710	△ 17,193	20.7%
2	森林資源の活用による持続可能な社会づくり		186,333	186,333	0	199,214	199,214	0	△ 12,881	△ 12,881	0	93.5%
	(5)間伐材搬出支援事業		26,400	26,400	0	31,150	31,150	0	△ 4,750	△ 4,750	0	84.8%
	(間伐材運搬経費支援事業)	林業振興課	0	0	0	6,400	6,400	0	△ 6,400	△ 6,400	0	皆減
	(林内作業路整備支援事業)	森林整備課	26,400	26,400	0	24,750	24,750	0	1,650	1,650	0	106.7%
	(6)森林整備促進路網整備事業	森林整備課	12,600	12,600	0	18,900	18,900	0	△ 6,300	△ 6,300	0	66.7%
	(7)ふくしまの低炭素社会づくり推進事業		114,566	114,566	0	101,406	101,406	0	13,160	13,160	0	113.0%
	(緑の住宅普及支援事業)	林業振興課	0	0	0	2,861	2,861	0	△ 2,861	△ 2,861	0	皆減
	(木質バイオマスでCO2ダイオキシン削減)	林業振興課	61,604	61,604	0	45,600	45,600	0	16,004	16,004	0	135.1%
	(ふくしまの家・担い手応援事業)	建築指導課	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	0	0	0	100.0%
	(ふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業)	建築指導課	49,962	49,962	0	49,945	49,945	0	17	17	0	100.0%
	(8)もつと木づくり推進事業		28,585	28,585	0	43,602	43,602	0	△ 15,017	△ 15,017	0	65.6%
	(木景観形成促進事業)	林業振興課	3,510	3,510	0	5,000	5,000	0	△ 1,490	△ 1,490	0	70.2%
	(木とのふれあい創出事業)	林業振興課	3,232	3,232	0	4,876	4,876	0	△ 1,644	△ 1,644	0	66.3%
	(木材製品需要拡大技術導入事業)	林業振興課	6,070	6,070	0	6,100	6,100	0	△ 30	△ 30	0	99.5%
	(ふくしま県産材で東京2020大会サポーター事業)	林業振興課	1,242	1,242	0	26,823	26,823	0	△ 25,581	△ 25,581	0	4.6%
	(県産材サプライチェーン構築支援事業)	林業振興課	14,531	14,531	0	0	0	0	14,531	14,531	0	皆増 新規
	(木製食器で木づくり推進)	一般廃棄物課	0	0	0	803	803	0	△ 803	△ 803	0	皆減
	(9)地域林業技術伝承事業	林業振興課	4,182	4,182	0	4,156	4,156	0	26	26	0	100.6%
3	市町村が行う森林づくり等の推進		295,324	295,324	0	269,150	269,150	0	26,174	26,174	0	109.7%
	(10)森林環境交付金事業		295,324	295,324	0	269,150	269,150	0	26,174	26,174	0	109.7%
	(森林環境基本枠)	森林計画課	188,717	188,717	0	187,030	187,030	0	1,687	1,687	0	100.9%
	(地域提案重点枠)	森林計画課	106,607	106,607	0	82,120	82,120	0	24,487	24,487	0	129.8%

施策区分	事業名 (小事業名)	担当課(室)	令和2年度事業実績			令和元年度事業実績			増減			基金繰入 対前年比 (a)/(b)	備考
			事業費	基金繰入金(a)	財源内訳 国庫等	事業費	基金繰入金(b)	財源内訳 国庫等	事業費	基金繰入金	財源内訳 国庫等		
4	県民参画の推進		58,829	58,519	310	38,971	38,960	11	19,858	19,559	299	150.2%	
	(11)花粉の少ない森林づくり事業		2,333	2,333	0	1,539	1,539	0	794	794	0	151.6%	
	(12)林業普及推進事業	林業振興課	700	700	0	318	318	0	382	382	0	220.1%	
	(13)森林環境学習の森整備事業	森林保全課	4,908	4,908	0	4,521	4,521	0	387	387	0	108.6%	
	(14)森林づくり総合対策事業	森林保全課	17,197	17,197	0	13,882	13,882	0	3,315	3,315	0	123.9%	
	(15)県立学校における森林環境学習推進事業	高校教育課	2,099	2,099	0	1,969	1,969	0	130	130	0	106.6%	
	(16)ふくしまからはじめよう。森林とのきずな事業 (森林環境情報発信事業)		9,178	9,168	10	12,868	12,857	11	△ 3,690	△ 3,689	△ 1	71.3%	
	(若者の森林自己学習支援事業)	森林計画課	8,760	8,750	10	11,503	11,492	11	△ 2,743	△ 2,742	△ 1	76.1%	
	(17)森林・水循環推進事業	復興・総合計画課	1,076	1,076	0	1,365	1,365	0	△ 947	△ 947	0	30.6%	
	(18)エコ七夕	環境共生課	2,174	2,174	0	2,339	2,339	0	△ 165	△ 165	0	92.9%	
	(19)ふくしま植樹祭開催事業	森林保全課	19,164	18,864	300	0	0	0	19,164	18,864	300	皆増	新規
5	ふくしまの森林文化の継承		5,136	5,136	0	9,982	9,982	0	△ 4,846	△ 4,846	0	51.5%	
	(20)ふくしまの森林文化継承事業	森林計画課・林業振興課	5,136	5,136	0	9,982	9,982	0	△ 4,846	△ 4,846	0	51.5%	
6	森林環境の調査		4,914	4,914	0	1,350	1,350	0	3,564	3,564	0	364.0%	
	(21)森林環境等調査発信事業	森林計画課	4,914	4,914	0	1,350	1,350	0	3,564	3,564	0	364.0%	
7	森林環境基金の運営		665	665	0	2,203	2,203	0	△ 1,538	△ 1,538	0	30.2%	
	(22)森林環境基金運営事業	森林計画課	665	665	0	2,203	2,203	0	△ 1,538	△ 1,538	0	30.2%	
	計		1,006,887	1,002,865	4,022	947,765	926,608	21,157	59,122	76,257	△ 17,135	108.2%	
	(充当勘定別内訳)	通常	1,006,887	1,002,865	4,022	947,765	926,608	21,157	59,122	76,257	△ 17,135	108.2%	

○基金積立予算

積立予算	積立額	一般財源	運用益等	積立額	一般財源	運用益等	積立額	一般財源	運用益等
(23)森林環境基金	1,059,191	1,057,999	1,192	1,073,126	1,073,126	0	△ 13,935	△ 15,127	1,192
(森林環境基金)	1,059,191	1,057,999	1,192	1,073,126	1,073,126	0	△ 13,935	△ 15,127	1,192
	1,059,191	1,057,999	1,192	1,073,126	1,073,126	0	△ 13,935	890,064	112

令和2年度森林環境基金事業の実績について

1 森林環境の適正な保全

(1) 森林整備事業

【森林整備課】

事業概要

水源区域及び水源かん養又は山地災害防止機能の発揮を重視する森林において、手入れが行われず荒廃が懸念される森林に対し、補助事業により間伐等の森林整備を実施する。

○令和2年度実績

- ・森林整備事業 いわき市ほか25市町村 間伐945ha (R元実績：915ha)
林業事業体による水源区域等で荒廃が懸念される森林の整備を支援した。
- ・森林資源造成支援事業 古殿町ほか15市町村 再造林等70ha (R元実績：35ha)
水源区域等の広葉樹林化などの多様な森林資源へ誘導するための再造林等を支援した。



森林整備（間伐）実施後状況



再造林

○累計実績（平成18～令和2年度）

- ・森林整備事業 20,919ha (H18～H27 15,911ha H28～R2 5,008ha)
- ・森林整備促進事業 8,350ha (H18～H27)
- ・森林資源造成支援事業 264ha (H28～R2)

事業成果

令和2年度までの15年間に荒廃が懸念される森林20,919ha（猪苗代湖の面積約2.0個分）の間伐を実施したことにより、水源かん養や山地災害防止など森林の有する公益的機能が向上し、水源区域森林の機能維持に寄与することが期待される。

また、水源区域や水源かん養機能又は山地災害防止機能が重視される森林264haの再造林等を実施したことにより、森林の若返りや年齢構成の平準化が図られるとともに、広葉樹林化など多様な森林資源への誘導も期待される。

(2) 里山林整備事業

【森林保全課】

事業概要

里山林において地域住民が行う、野生動物の生息域との間の緩衝帯の整備や森林づくりへの意識の醸成、森林と人との絆の回復を図るための身近な森林の整備を支援する。

○令和2年度実績

- ・環境整備（緩衝帯整備、景観整備、危険木整理） 51件 90ha (12市町村)
(R元実績：48件 80ha (14市町村))



緩衝帯整備後の様子



緩衝帯整備の様子

○累計実績（平成28～令和2年度）

・環境整備（緩衝帯整備、景観整備、危険木処理） 累計206件 355ha

事業成果

51団体（12市町村）が行った緩衝帯整備、景観整備、危険木整理90haに対して支援を行い、里山林の獣害対策や地域住民の森林づくりへの意識醸成につながった。

(3) 森林整備地域活動支援交付金事業

【森林計画課】

事業概要

森林の有する多面的機能の発揮を図る観点から、集約化施策を促進するために必要な森林経営計画の作成支援を行う。

○令和2年度実績

森林組合等が森林経営計画を作成するために必要な森林情報の収集や森林経営計画への参画における森林所有者の同意取得等の活動に対し支援を行った。
森林整備地域活動支援：166ha （R1実績：228ha）

○累計実績（平成23～令和2年度）

森林整備地域活動支援：37,172ha

事業成果

森林経営計画の作成や施策集約化の促進等の活動に対する支援を行った。平成23年度から令和元年度までの9年間の森林整備地域活動支援等により、令和元年度は89,720haの森林で森林経営計画が作成され、計画的かつ一体的な森林施策の推進が図られた。

(4) 森林環境適正管理事業

【森林計画課】

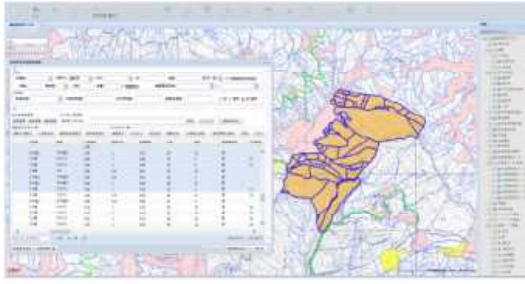
事業概要

森林情報の管理と業務の効率化、市町村等との情報共有を図るために導入した「ふくしま森林クラウドシステム」及び一般県民向け森林情報地図サイト「ふくしま森まっぷ」等の保守・運用を行う。

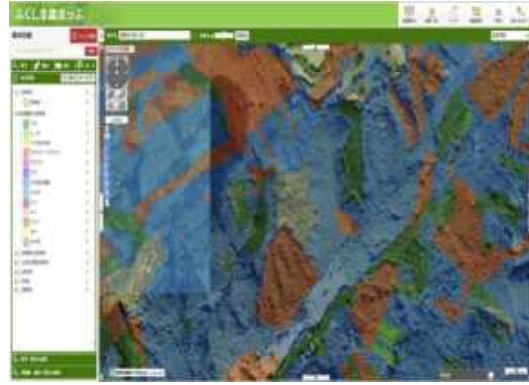
○令和2年度実績

・森林情報（GIS）活用推進事業

森林情報を管理する①森林クラウドシステムの保守・運用、②森林GISのシステム保守・運用、③森林情報発信システムの保守・運用業務を委託事業により実施した。
ふくしま森まっぷアクセス件数 1,196,803件（R元実績：1,270,597件）



「森林クラウド」による森林資源情報の表示



「ふくしま森まっぷ」による森林情報の表示

○累計実績（平成18～令和2年度）

森林GIS開発 平成18～20年度
 ふくしま森林クラウドシステムの導入 令和元年度
 ふくしま森まっぷ（平成21年度公開）
 アクセス件数 累計約655万件

事業成果

年間を通してふくしま森林クラウドシステム及び福島県森林GISの保守・運用を行った。また、ふくしま森まっぷにより各種森林情報の発信を行った。

2 森林資源の活用による持続可能な社会づくり

(5) 間伐材搬出支援事業

【森林整備課・林業振興課】

事業概要

間伐材の利用促進を図るため、これまで搬出・利用が十分に進んでいない間伐材等未利用材の搬出を支援する。

○令和2年度実績

・林内作業路整備支援事業 500円/m
 いわき市ほか16市町村 53,613m (R元実績：49,500m) 【森林整備課】
 間伐材の利用促進を図るため、間伐材の搬出に必要な作業路の整備を支援した。



作業路を利用した間伐材の搬出



林内作業路の開設

○累計実績（平成18～令和2年度）

山土場から原木市場までの運搬支援 H18～R元 267,971m³
 間伐材搬出に必要な林内作業路整備 H18～R2 731,951m

事業成果

これまで搬出が十分に進んでいなかった、間伐材等未利用材が原木市場へ搬出されたことで、間伐材の利用拡大が図られた。
 また、林内作業路の整備による間伐材搬出促進により、これまで未利用材として林内に残置されていた間伐材の利用拡大を図られた。

(6) 森林整備促進路網整備事業

【森林整備課】

事業概要

路網の未整備により間伐等が遅れている森林に対し、作業道を開設することで森林整備と搬出の促進を図り、森林環境の保全及び森林資源の活用により低炭素社会づくりを目指す。

○令和2年度実績

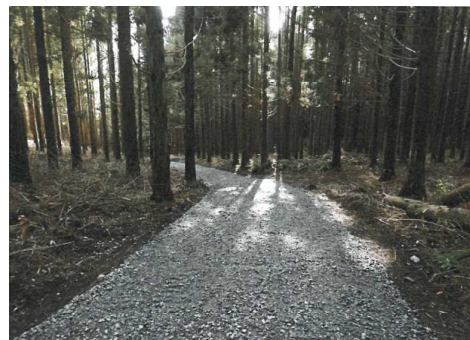
- ・森林整備促進路網整備事業 4,200円/m

古殿町ほか3市町村 3,000m (R元実績: 4,500m)

水源区域及び水源かん養機能又は山地災害防止機能を重視する森林に対して、継続的な森林整備の促進を図るため、トラックが通行可能な耐久性のある作業道を開設する経費を助成した。



作業道の開設状況



作業道の開設状況

○累計実績 (平成23～令和2年度)

耐久性のある作業道の開設 H23～R2 66,182m

事業成果

平成23年度から令和2年度までの10年間で66,182m (猪苗代湖約1.3周分)の作業道が開設され、森林整備と間伐材の搬出が促進された。このことにより、水源かん養機能・山地災害防止機能の回復と資源の有効活用が期待される。

(7) ふくしまの低炭素社会づくり推進事業

【林業振興課・建築指導課】

事業概要

地球温暖化防止に資するため、県民や関係者が一体となって行うCO2排出削減に貢献する取組を推進するとともに、固定された炭素を貯蔵している木材を住宅等に利用することや、バイオマスエネルギー利用の普及のための支援を行い、低炭素社会の実現に資する。

○令和2年度実績

- ・木質バイオマスでCO2ダイエット事業【林業振興課】

ア間伐材等二酸化炭素削減支援

県内木材バイオマスエネルギー利用施設への燃料用間伐材の搬出・運搬支援を実施した。 1,000円/t 56,000t (R1実績: 1,000円/t 40,000t)

イ木質バイオマス利用ストーブ普及支援

木質バイオマスエネルギー利用機器の民間における導入支援を行った。

ペレットストーブ24台、薪ストーブ76台、補助額: 5万円/台

(R1実績: ペレットストーブ27台、薪ストーブ73台、補助額: 5万円/台)

- ・ふくしま木の家・担い手応援事業【建築指導課】

県産木材を活かした家づくりの担い手である県内の大工・工務店等を対象とした技術セミナー等を実施した。

木造建築普及促進セミナー 4回開催 参加者99名 (R元実績: 5回 138名)

福島県木造住宅耐震診断技術講習会 1回開催 参加者37名 (R元実績: 1回 24名)

- ・ふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業【建築指導課】

構造材及び間柱に所定の県産木材を使用するなどの要件を満たす住宅の建築主に対し、1戸あたり20万円相当 (被災者等・県外移住者・子育て世帯は30万円相当)の補助

を行い、県産木材の利用促進を図った。

補助実績：176棟（一般（子育て世帯除く）49棟、被災者等14棟、県外移住者2棟、子育て世帯111棟）森林認証材加算1棟
 (R元実績：171棟（一般（子育て世帯除く）35棟、被災者等への補助は18棟、県外移住者1棟、子育て世帯117棟、森林認証材加算1棟）



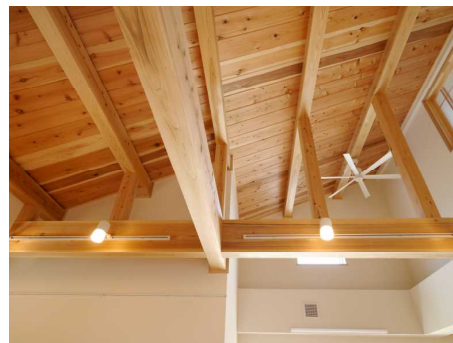
燃料用間伐材の搬出支援



木質バイオマス利用ストーブ普及支援



木造講習会



県産材を活用した住宅

○累計実績

- ・木めぐり探検事業（平成28～令和元年度）
見学体験ツアー H28～H30 11回 参加者 291名
- ・緑の住宅普及支援事業（平成22～令和元年度）
ふくしま緑の家づくりセミナー H22 県内7方部で実施 参加者 300名
県産材住宅モデル等の展示 H22～H29 29回
家づくりワークショップ等の開催 H22～H30 74回 参加者3,583名
ふくしまの住まい作品展 H28 県内7方部で実施 参加者 700名
家づくり講習会 H29～30 4回 参加者 86名
- ・木質バイオマスでCO₂ダイエット事業（平成23～令和2年度）
県内木材バイオマスエネルギー利用施設への
燃料用間伐材の搬出・運搬支援 H24～R2 399,200m³
木質バイオマス利用ストーブ H23～R2 706台
(内訳 ペレットストーブ211台、薪ストーブ491台、兼用4台)
- ・ふくしま木の家・担い手応援事業（平成26～令和2年度）
担い手ネットワーク登録者数 H26～H28 121名
技術力向上に係るセミナー、研修等 H26～R2 39回 参加者1,388名
- ・ふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業（平成25～令和2年度）
補助実績 H25～R2 1,231棟（うち被災者等への補助254棟、県外移住者7棟、子育て世帯313棟）

事業成果

- ・木材関係団体や家づくりグループとの連携による県産材のPR活動を展開し、県内外の消費者や建築関係者等へ県産材の良さや利用する意義の理解促進を図った。
- ・事業体や個人に対する補助を通じて、木質バイオマスの燃料としての有効利用につ

いて、県民の理解が深まった。

・県内の大工・工務店や設計者を対象としたセミナーや技術講習会等の開催により、木造建築に係る自己研鑽の機会が提供され、技術力の向上と伝統技術の継承が図られた。

・県産木材を活用し県内工務店が建築した木造住宅の補助棟数は、子育て世帯の割合が多く、若い世代で木造住宅の快適さが認知され、県産木材を利用する意義についても意識の醸成が図られた。

(8) もっともっと木づかい推進事業

【林業振興課】

事業概要

公共施設の木質化や学校教育現場における木育活動の推進等によって、県民の木材利用に対する意識を醸成し、一般住宅等民間建築物における県産材の利用拡大を図る。

○令和2年度実績

・木景観形成促進事業

県内民間団体等を事業主体とし、提案公募型での県産材を活用した施設の整備に対し支援を行った。(2か所)(R元実績:3か所)

①道の駅安達(二本松市) 木製テーブル、ベンチ

②福島大学(福島市) 木製看板等

・木とのふれあい創出事業

木を学び親しむ機会を創出するため木工工作用資材を配布するとともに、各方部での出前講座、林業祭での木工工作教室を実施した。

木工工作用資材配布 86校、出前講座9箇所14回(約378人)

(R元実績:87校 出前講座11箇所 18回)

・木材製品需要拡大技術導入事業

新たな木材需要の創出に繋がる新用途・新技術の開発や普及啓発活動を支援した。

県産木材を利用した耐火部材の開発 計2件(R元実績:3件)

・ふくしま県産材で東京2020大会サポート事業

県内の小中学生が製作に携わった木製ベンチを大会関連施設に設置するまでの間の保管を行った。

県産材の提供数量 113m³(スギ79m³、ヒノキ34m³)

県産材による木製ベンチの製作 250脚

・県産材サプライチェーン構築支援事業

大径材を利用し高付加価値製品等の製造に向けた優れたサプライチェーンの取組を支援した。

サプライチェーン構築の取組 3件



耐火試験の様子



木工工作教室

○累計実績(平成23~令和2年度)

・木景観形成促進事業(平成24~令和2年度)

民間団体等による県産材を活用した施設整備 32か所

・新「ほっと」スペース創出事業(平成23~29年度)

公共建築物等への県産材製品の設置・展示 59か所

・木とのふれあい創出事業(平成24~令和2年度)

木工工作用資材提供 のべ942校、出前講座の実施 のべ89校

・CLT等新技術導入実践事業(平成27年度)

実証事業等 2件

- ・木材製品需要拡大技術導入事業（平成28～令和2年度）
新技術の開発と普及活動 12件
- ・ふくしま県産材でオリンピック応援事業（平成30～令和2年度）
県産材の提供数量 113m³（スギ79m³、ヒノキ34m³）
県産材による木製ベンチの製作 250脚
- ・県産材サプライチェーン構築支援事業（令和2年度～）
サプライチェーン構築の取組 3件

事業成果

- ・木材を活かしたデザインや景観をつくりだすことにより、一般県民等に県産材利用の普及が図られた。
- ・小学生や中学生を対象に木材利用の意義について理解を深めてもらい、将来の木材利用や木づかいへの普及を図った。
- ・県産スギ材の新たな部材としての活用や、県産材（スギ、ヒノキ）を用いた建築構法の認定取得等、民間事業者の創意工夫により、県産材の様々な利活用の可能性が広がった。
- ・関係機関等と連携しながら、東京2020大会の選手村ビレッジプラザに用いる建築部材を納入し、県産材の安全性や品質等をPRした。
- ・資源量が増加している県産大径材を活用するためのサプライチェーンが構築された。また、関連施設に設置するための木製ベンチの製作にあたり、県内の小・中学校71校の児童、生徒が携わり、ものづくりの楽しさや、木材利用の意義等を深めてもらうことができた。
- ・木製食器については高価格などの理由により協力店への導入は進まなかったが、環境に優しい取組である食品ロス削減に積極的な飲食店等に木製認定証を掲出してもらうことにより、県産材の効果的なPRを行うことができた。

(9) 地域林業技術伝承事業

【林業振興課】

事業概要

地域の特性を活かし多様な森林づくりに向けた施業技術の実証等を支援し、各地域の条件を踏まえた施業システムの構築と継承を行う。

○令和2年度実績

・地域林業技術伝承事業

各地域の特性を活かした多様な森林づくりに向けた施業技術の実証等を支援した。

支援団体 流域林業活性化センター 3団体（R元実績:3団体）

・林業研究グループ交流促進事業

林業技術や特色ある取組を伝承・普及する県内の林業研究グループの活動を促進した。

支援団体 県内林業研究グループ 7団体（R元実績:6団体）



アロマの蒸留体験イベント



特殊伐採等技術伝承研修会

事業成果

地域の特性を生かした施業技術の実証試験や林業技術の伝承・普及を支援することで、地域における林業の課題解決と振興に貢献した。

県内の林業研究グループの活動を促進したことにより、県民を対象とした林業研究グループが持つ林業技術等の普及が図られた。

- 累計実績（平成28～令和2年度）
 - ・地域林業技術伝承事業（平成28～令和2年度）
 - 支援団体 延べ16団体
 - ・林業研究グループ交流促進事業（平成29～令和2年度）
 - 支援団体 延べ24団体

3 市町村が行う森林づくりの推進

(10) 森林環境交付金事業

【森林計画課】

事業概要

県民一人一人が参画する新たな森林づくりを効果的に進めるため、市町村が独自性を発揮して創意工夫を凝らした事業を展開することができるよう、森林環境基金の一部を交付する。

○令和2年度実績

・森林環境基本枠

59市町村（R元実績：59市町村）

- ①県民参画の推進 35市町村（R元：34市町村）
 - 県民を対象とした森林教室、森林観察、林業体験、等
 - ・木工教室、ツリークライミング体験会（田村市）等
- ②森林の適正管理推進 46市町村（R元実績：8市町村）
 - 森林整備のための協定締結、現地調査・測量、森林情報システムの委託
 - ・森林景観整備の実施に向け所有者との協定を締結（郡山市）等
- ③森林環境学習の推進 59市町村（R元実績：57市町村）
 - 森林環境学習実施校 小学校283校、中学校91校、計374校 全658校の57%
 （R元実績：小学校295校、中学校87校、計382校 全670校の57%）
 - 人数 小学校21,825人 中学校 6,974人 計28,799人（全134,404人の21%）
 （R元実績 小学校23,693人 中学校 7,056人 計30,749人（全135,913人の23%））
 - ・楮刈り体験活動、遠野和紙漉き体験、木製品の製作（入遠野中学校）等
- ④森林整備の推進 38市町村、128ha（R元実績：37市町村、88ha）
 - 間伐、野生生物との共生林整備、等
 - ・野生生物との棲み分けを図る緩衝帯の整備48ha 10町村（R元実績：32ha）



県民参画の推進（郡山市）



森林環境学習の推進（会津若松市）

・地域提案重点枠

22市町村、40件（R元実績：21市町村、47件）

- ①県産材の利活用推進 21市町村、33件（R元実績：20市町村、39件）
 - 小中学校・幼稚園等の木造・木質化、木製机・椅子等の導入、など
 - ・ひがし保育園への木製ロッカーの導入（白河市）など
- ②木質バイオマスの利活用推進 2市、2件（R元実績：2市、3件）
 - ペレットストーブ導入 合計4台（R元実績：合計5台）
 - 薪ストーブ導入 なし（R元実績：合計1台）
 - ・大戸中学校・湊中学校へのペレットストーブの導入（会津若松市）など
- ③その他 4市町 5件（R元実績：3市町村、5件）
 - 「会津・漆の芸術祭2020」の開催（会津若松市）など



木製本棚の導入（北塩原村）



木塀の設置（矢吹町）

○累計実績（平成18～令和2年度）

・森林環境基本枠

- ①県民参画の推進実施 H18～R2 50市町村
- ②森林の適正管理実施 H18～R2 50市町村
- ③森林環境学習実施 H18～R2 全59市町村
延べ5,563校
- ④森林整備実施 H23～R2 51市町村、間伐、危険木除去等128ha

・地域提案重点枠

- ①森林整備実施 H18～H22 47市町村 210件（間伐等1,087ha）
- ②県産材の利活用推進実施 H18～R2 52市町村 525件
- ③木質バイオマスの利活用推進実施
H18～R2 28市町村 84件
（ペレットストーブ264台 薪ストーブ10台）
- ④その他の取組実施 H18～R2 12市町村 56件
（漆の芸術祭、PTA等による里山環境再生、等）

事業成果

交付金を活用することにより、これまでに森林環境基本枠については全59市町村が県民参画や森林環境学習の推進などに取り組み、地域提案重点枠については52市町村が県産材の利活用推進や木質バイオマスの利活用推進などに取り組み、市町村との連携のもと、県民一人一人が参画する森林づくりを効果的に進めることができた。

4 県民参画の推進

もり

(11)花粉の少ない森林づくり事業

【森林整備課】

事業概要

再造林による森林の再生および県民参画の森林づくり推進のため、少花粉等の花粉症対策に資する苗木を育成し、住民参加型の森林づくり活動の促進を図るとともに、採種穂園の整備等により品質の良い種子を多く確保する。

○令和2年度実績

・花粉の少ない森林づくり推進事業

会津（喜多方市）の採種園台木植栽300本、花粉症対策苗木配布510本
（R元実績：台木植栽300本、苗木配布61本、苗木養成1,200本）

・花粉症対策品種等種子確保対策事業（R2新設）

人工交配210袋、カメムシ防除対策293袋



花粉症対策品種の苗木植栽



人工交配

○累計実績（平成23～令和2年度）

ミストハウス（発根促進施設）整備	H23	
少花粉スギ採種園	H26, H30	造成0.38ha
無花粉スギ採種園	H26	造成0.04ha
特定母樹スギ採種園	H28～R2	造成0.36ha
苗木配布	H25～R2	1,891本

事業成果

令和2年度までに、中通り（林業研究センター）と会津地方（会津圍場（喜多方市））に花粉症対策に資する採種園を計0.78ha造成したことにより、稼働後は福島県内全域に少花粉スギおよびスギ特定母樹実生苗の供給が可能となる。

(12) 林業普及推進事業

【林業振興課】

事業概要

森林・林業・木材産業の果たす役割や県民参画による森林づくりを推進するために開催している林業祭において、森林・林業・木材産業のPRを行い理解促進を図る。

○令和2年度実績

・普及推進事業

森林・林業・木材産業のPR（パネルディスカッション 100名）

○累計実績（平成22～令和2年度）

林業祭 H22～R2 来場者累計34,300人

事業成果

森林・林業の重要性や役割、林業の現状や魅力などを県民に対し発信するためのPR活動を実施したことにより、県民の森林・林業・緑化に対する意識が高まった。

(13) 森林環境学習の森整備事業

【森林保全課】

事業概要

全ての県民が、森林環境税の重要性や林業の役割についての学習や、森林とのふれあいのために、容易に利用できるフィールドの整備を行う。

○令和2年度実績

・森林学習フィールド整備事業

施設名：昭和の森	森林整備	アカマツ林の伐採及び地拵	1.00ha
緑化センター	森林整備	支障枝剪定	124m
(R1実績：県民の森	森林整備	間伐	0.76ha（ほか）

・全国植樹際記念の森整備事業

森林整備1箇所

○累計実績（平成23～令和2年度）

- ・ 県有林フィールド整備事業 平成23～令和2年度
6施設（県民の森、昭和の森、緑化センター、翁島県有林、舟津県有林、青松ヶ浜県有林）
間伐、除伐、危険木除去等 33.42ha
木製手すり設置 58.2m 案内板等設置
木製階段 75段 歩道工 282m 護岸補修 15.0m 支障枝剪定 124m
- ・ 歩道バリアフリー化事業 平成23～26年度
2施設（県民の森、緑化センター）
木質系チップ舗装歩道 330m
バリアフリー歩道 150m、木質舗装 211m²
- ・ 森林環境学習の森整備事業（平成28～29年度）
2施設（県民の森、舟津県有林）
下刈り、除伐 6.02ha 主伐 1.0ha
遊歩道 186m
- ・ 全国植樹祭記念の森整備事業
森林整備3箇所



県有林における遊歩道の整備



県民の森におけるフィールド整備（除伐）

事業成果

県民の森において森林整備を実施し、県民が安全に森林とふれあい・学習するためのフィールドを整備し、利用者の安全確保を図るとともに、森林・林業への理解の促進につながった。

また、お手植えの森整備やお手播きの森整備事業を行い、第69回全国植樹祭によって培われた森林づくり意識の引き継ぎを図った。

(14) 森林づくり総合対策事業

【森林保全課】

事業概要

県民参加による森林づくり運動を推進するため、緑化推進活動を実施している森林ボランティア団体の活動支援や森林づくり活動の情報収集・提供等を行う森林ボランティアサポートセンターの運営、ボランティアによる緑化意識醸成指導者や森林づくりの技術指導者となる人材の育成講座等の実施、更には企業やNPO等が行う森林づくり活動の支援を行う等、総合的な推進を図る。

○令和2年度実績

・ 未来へつなげよう豊かな森林づくり事業

ア 森林ボランティア団体活動推進事業

森林整備活動や森林づくり意識醸成活動などを実施した5団体に支援した。
(R元実績：7団体)

イ 森林ボランティアサポート事業

森林ボランティアサポートセンターを引き続き「県民の森」内に設置し、ホームページ及び広報誌（森ボラ新聞）によるイベントなどの情報提供、相談業務、森林整備機材の貸出等を行った。

(ホームページアクセス件数(R2.4～R3.3) 85,943件)

(R元年度ホームページアクセス件数：70,817件 対前年比：121%)

ウ もりの案内人養成事業

森林とのふれあいを通して森林の役割や重要性を広く県民に伝えるボランティアである指導者の養成を行った。養成講座受講者17名、認定者13名。
(R元実績：養成講座受講者28名、認定者23名)

エ グリーンフォレスター養成事業

森林ボランティアリーダー育成講座を開催しグリーンフォレスターの認定を行った。

養成講座受講者9名、認定者4名 (R元実績：養成講座受講者4名、認定者2名)

・みんなで支えよう森森（もりもり）元気事業

企業・団体等が社会貢献活動で行う森林整備において、活動の支援を行うとともに企業等とづくりの協定を締結した。

協定締結 5件 (R元実績：協定 3件)



もりの案内人養成講座の様子



企業による森林づくり

○累計実績（平成18～令和2年度）

・未来へつなげよう豊かな森林づくり事業

ア 森林ボランティア団体活動推進事業（平成18～令和2年度）

森林ボランティア団体支援 180団体

イ 森林ボランティアサポート事業（平成18～令和2年度）

ホームページアクセス件数 979,045件

ウ もりの案内人養成事業（平成18～令和2年度）

もりの案内人養成者数 310人（前身事業も含めた累計は595人）

エ グリーンフォレスター養成事業（平成30年度～令和2年度）

（旧名称 森林ボランティアリーダー育成事業）（平成18～29年度）

グリーンフォレスター認定者 59人（前身事業も含めた累計は130人）

・みんなで支えよう森森（もりもり）元気事業（平成29～令和2年度）

（旧名称 カーボンオフセット森森（もりもり）元気事業）（平成22～28年度）

森林づくり活動協定締結 39件 63.23ha

事業成果

未来へつなげよう豊かな森林づくり事業では、県内各地域において自主的に森林整備活動を実施している森林ボランティア等の活動を支援することにより、県民参加による森林づくり運動の推進が図られた。

また、森林ボランティアに関する総合的な窓口として「森林ボランティアセンター」を開設し、広く県民に森林ボランティアに関する情報を発信し、森林整備の知識や技術を身につけることを目的とした研修会を実施して、森林づくりに対する意識醸成を図った。

そして、森林の役割や重要性を県民に伝える「もりの案内人」を養成することにより、森林環境学習や自然観察等の森林づくり活動の推進が図られ、次世代を担う子どもを中心に県民の緑化意識の高揚が図られた。

さらに、森林整備に関する専門的知識と技術を要する「グリーンフォレスター」を育成する養成講座を開講して、県内で活動する森林ボランティア団体等に技術指導を行う人材の養成を図った。

みんなで支えよう森森（もりもり）元気事業では、企業に対して森林づくり活動の普及啓発を行ったことにより、県民の森林づくり意識の醸成が図られた。

(15) 県立学校における森林環境学習推進事業

【高校教育課】

事業概要

県立学校が行う森林の環境に関する学習、森林の管理に関する学習、森林資源の利用に関する学習、地域における森林の役割に関する学習及び森林に関わる職業に関する学習に対する活動費を支援する。

○令和2年度実績

実施校数 岩瀬農業高校ほか 計9校 人数 1,386名 (R1実績:10校)

取組事例

林業関係企業見学や体験活動をとおして、地域の人々の生活や環境と森林との関係についてや森林・林業分野における先端技術を活用した取組について学習した。また、地域資源を用いた伝統工芸体験をとおして興味・関心を高めるとともに、森林の持つ多面的な機能や森林整備と木材利用の必要性などに対する理解と関心をさらに深めることができた。(遠野高校)



会津農林高校・演習林実習



福島工業高校(定時制)・伐採作業の様子

○累計実績(平成18~令和2年度)

実施校数 H18~R2 延べ109校

事業成果

森林関係の講師を招聘した学習、伐採作業や枝打ち体験など森林の保全に関する学習、間伐材や森林資源の活用に関する学習、山野草の移植を通して地域の森林の再生を図るなど環境保護に関する学習などの事業を実施した。9校、合計1,386名の生徒が事業に参加した。

(16) ふくしまから はじめよう。森林とのきずな事業

【森林計画課・森林保全課】

事業概要

震災や原子力災害発生以降の福島県の森林の現状に対する理解を深めるとともに、森林づくり活動の浸透や拡大を図るため、森林環境に関する情報発信を図る。

○令和2年度実績

・森林環境情報発信事業 【森林計画課】

ポスター及びパンフレット等により、森林環境税を活用した取組のほか、森林の整備や県産材の利活用、森林づくりの推進などについて発信した。また、森林認証制度の普及、及び林業事業体の認証取得に向けた取組を支援した。

パンフレット 15,000部 森林環境学習下敷き作成 3,000枚 県政テレビ番組 1回
木の良さPRパンフレット 10,000部
森林認証取得・継続補助事業体数 9事業体 (R元実績:8事業体)

・若者の森林自己学習支援事業【森林計画課】

県内の大学等におけるサークル活動など、グループによる森林に関する自己学習を支援した。

実施団体 森林自己学習取組学生グループ 1団体 (R元実績:5団体)
ナチュラルライフスタイル部こおりやま開成の杜復活プロジェクト
(郡山女子大学)



森林環境税で
森林を守り育てています

森林環境税パンフレット



若者の森林自己学習支援事業 成果報告会

○累計実績（平成25～令和2年度）

・森林環境情報発信事業（平成25～令和2年度）

- 新聞記事掲載 7回
- 県政広報テレビ放映 10回
- テレビ・ラジオCM 合計694回
- 森林環境税PRパンフレット、ポスター作成
合計 パンフレット 221,000部、ポスター 6,800枚
- 森林環境税PR鉛筆4,400セット 森林環境税PR割箸3,000セット
- 森林環境学習下敷き作成 38,000枚

・森林づくり活動推進事業（平成25年度）

- 森林づくり検討委員会開催 3回 委員7名
- 「森林づくり活動推進についての提言」取りまとめ（H25.12.20）

・森林づくり県民運動推進事業（平成26～30年度）

- 森林づくり活動ワークショップ 3か所
- シンポジウム 2か所
- 全国植樹祭PR活動 84箇所
- 全国植樹祭連携イベント 32箇所
- 苗木のスクールステイ 県内小学校131校
- 苗木のホームステイ 個人世帯73世帯、企業団体90団体

事業成果

新聞広告や県民へのパンフレット等の配布により、本県の森林の概要や良さ、森林林業に関する取組など森林環境に関する情報を発信することで、ふくしまの森林に関する関心と理解の拡大により、県民参加による森林づくりをさらに加速させることができた。

(17) 森林・水循環推進事業

【復興・総合計画課】

事業概要

健全な水環境を推進するため、県内流域において森林・水環境教育等を実践するための各流域の特色ある森林・水資源等を生かした相互交流・体験の機会を創出する。

○令和2年度実績

- 森林・水資源等を活かした相互交流会の開催
- Save My Hometown 参加者 30名
- 福島県水環境活動交流会 参加者 34名（R元実績：参加者50名）
- ふくしまの水に触れよう 参加者 25名

○累計実績（平成28～令和2年度）

- 森林・水資源等を活かした相互交流会の開催
- 福島県水環境活動交流会 参加者228名

全国河川愛護団体交流会
水を育む森林環境学習発表会
交流行事、体験ツアー
流域水循環に関する協議の場の開催

参加者 78名
参加者154名
参加者220名
計18回開催



Save My Hometown



ふくしまの水に触れよう

事業成果

森林・水資源を生かした相互交流会を開催し、令和2年度の交流行事参加者は89名となった。流域における森林・水環境教育の実践により、健全な水環境の推進が図られた。

(18) ふくしま植樹祭開催事業

【森林保全課】

事業概要

全国植樹祭の開催理念を継承して、ふくしまの美しい緑と心が、未来も豊かでありつづけるよう人と人との繋がりや、森林と人との絆を深める循環の理念に基づく森林づくりをおこなう。

○令和2年度実績

台風14号の影響により参加者の安全を第一に考慮して中止
植栽本数 2,500本 11種(アカマツ、サクラ等)

(19) エコ七夕事業

【環境共生課】

事業概要

保育園・幼稚園等を対象に、エコに関する願いごとを考える七夕イベントの開催を支援し、園児等の環境意識の啓発とあわせて、家庭への啓発効果の普及を図る。

○令和2年度実績

- ・エコ七夕実施園数 102園 参加者5,591名 (R元実績：101園 参加者5,837名)
- ・もりの案内人派遣園数 12園 参加者 395名 (R元実績：10園 参加者 340名)
- ・エコ七夕in県庁 中止 (新型コロナウイルス感染症感染防止のため)
(R元実績：三春町北保育所(三春町) 参加者30名)



エコな願いの短冊を飾り付け



もりの案内人指導の木工体験

事業成果

幼稚園・保育園等で、例年約100園の七夕イベントを支援し、子どもたちの地球環境を想うやさしい心の育成を図った。

○累計実績（平成28～令和2年度）

- ・エコ七夕実施園数 473園 参加者25,799名
- ・実施園のうち、もりの案内人派遣園数 47園 参加者 1,483名
- ・実施園のうち、エコ七夕in県庁実施園数 4園 参加者 155名

5 ふくしまの森林文化の継承

(20) ふくしまの森林文化継承事業

【森林計画課・林業振興課】

事業概要

先人たちが育んできた森林と人との絆（つながり）である森林文化や木の文化を改めて見直し、現代生活に活かしていくため、県民への普及PRを行う。

○令和2年度実績

- ・ふくしまの森林文化継承事業 【森林計画課】
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・木（森）に由来する伝統文化継承事業 【林業振興課】
伝統文化を継承するための研修・意見交換会及び新たな製品の開発支援をした。
 - 漆の意見交換会（会津若松市） 27名
 - 漆の意見交換会（書面開催） 27団体に資料送付
 - 桐の意見交換会（会津若松市） 24名
 - 桐の意見交換会（書面開催） 31団体に資料送付
 - 漆掻き職人育成研修 4回（喜多方市） 研修生5名（R元実績：4回）
1回（茨城県常陸大宮市） 参加者16名（R元実績：1回）
 - 野生きのこ由来のほんしめじ福島H106号を使用した加工品及び資料の配付及び福島N5号、N6号の菌床のPR展示（二本松市） 配布数量 200食
 - 福島県産桐を使用したベッドフレームの開発



漆掻き職人育成研修



きのこ菌床等の展示

○累計実績

- ・ふくしまの森林文化継承事業（平成24～令和元年度）
 - 森林文化公開体験イベント開催 H24～H27, H29～R元 17回
 - 森林文化調査カード公開 H24～H28 125件（H18からの累計実績175件）
 - 森林文化記録映像公開 H18～R元 21テーマ21本
 - 森林文化出前講座 H30～R元 9回
- ・木（森）に由来する伝統文化継承事業（平成25～令和2年度）
 - 伝承文化継承イベント開催 H25～R2 22回 参加者835名
 - 伝承文化継承研修会 H28～R2 39回 参加者133名
 - 野生きのこ料理教室・試食会 H28～R2 8回 参加者383名
 - 技術開発 H28～R2 5件

事業成果

・これまでに実施した本県の森林文化の調査結果を175件の調査カードに取りまとめ、「森のくらし」をテーマに21章の森林文化記録映像を作成し、ホームページでの公開や森林文化体験イベントの実施等で、ふくしまの森林文化を広く発信した。

・桐の栽培者や、漆掻き職人を育成することで、次世代への知識や技術の習得に寄与した。

また、漆掻き職人の育成により漆に関する知識や技術の伝承に寄与し、また野生きのこ由来のきのこの加工品及び資料を配付し、菌床や資料を展示することで、本県で受け継がれてきた野生きのこの食文化の周知に寄与した。

さらに、特用林産物を利用した機能性の高い製品の開発により、県産特用林産物の魅力や新たな利用方法について、幅広い世代に周知することができた。

6 森林環境の調査

(21) 森林環境等調査発信事業

【森林計画課】

事業概要

県民に身近な森林の現況や、木造施設などにおける木材の良さを調査し、その結果を、県民に向け周知することで、県民に対し森林や木材とふれあう動機付けを行うとともに、森林を守り育てる意識の醸成を図る。

○令和2年度実績

・森林環境等調査発信事業

幼保施設での木製設備の使用状況をモニタリングし、その結果を踏まえた木製備品のカタログを作成し、県産材の利活用推進を図った。

幼保施設・学校用木製製品カタログ 1,500部（県内幼稚園、認定こども園、小中学校等へ配布）

・森林環境教育支援調査発信事業

福島県の森林環境教育を支援するため、教育現場の意見や要望を調査し、その結果を踏まえた学習指導案及び教材・教具の制作に向けた方針の作成に取り組んだ。



幼保施設・学校用木製製品カタログ



木製玩具モニタリング状況

○累計実績

・巨樹巨木調査 222本 H28～H29

・木のよさ調査 小学校延べ6校（H28、H29年度）

・木製設備導入調査 小中学校 書面調査29校 現地調査10校（H30年度）

幼保施設 書面調査19校 現地調査10校（R元年度）

・PRチラシの作成・配布（幼保施設・学校用木製製品カタログ 1,500部、木のよさPRチラシ 41,000部、巨木PRチラシ 35,000部）

事業成果

これまでの調査の結果を取りまとめたPRチラシや木製製品カタログを作成し、幼保施設や小学校等の森林環境学習活動等に活用することで、森林・林業に対する子ども達の

理解を深め、森林を守り育てる意識や木材の利活用推進する意識の醸成が図られた。

7 森林環境基金の運営

(22) 森林環境基金運営事業

【森林計画課】

事業概要

森林環境基金事業の適正な執行と透明性を確保するために「森林の未来を考える懇談会」を運営する。

○令和2年度実績

・森林の未来を考える懇談会運営事業

森林の未来を考える懇談会を3回開催した。

第1回（令和2年8月25日）

- ・令和元年度事業の実績について
- ・令和2年度事業の実施について
- ・令和3年度以降の森林環境税の在り方について－中間取りまとめ－

第2回（令和3年1月25日）

- ・令和3年度以降の森林環境税の在り方について－答申－

第3回（令和3年3月23日）

- ・令和2年度森林環境基金事業の実績見込みについて（報告）
- ・令和3年度以降（第4期）の森林環境基金を活用した取組について
- ・令和3年度森林環境基金事業の概要について

・森林環境基金事業に対する県民の声を聴く事業

第4期森林環境税PRパンフレット作成 15,000部

○累計実績

・森林の未来を考える懇談会運営事業（平成18～令和2年度）

懇談会開催 H18～R2 53回

・森林環境税関連施策検討事業（平成24～25年度）

森林環境基金事業成果発表会開催 H24～H25 2回 発表題数16題

・森林環境基金事業に対する県民の声を聴く事業（令和元、2年度）

森林づくりタウンミーティング 8回 参加者合計309名

森林環境税に関する県民アンケート 回答数9,489件

市町村・関係団体アンケート 1回

県民意見公募 1回

第4期森林環境税PRパンフレット作成 15,000部

事業成果

これまで委員10名で構成する「森林の未来を考える懇談会」を53回開催し、取組に対する意見や評価等について検討していただくことで、県民の参画と透明性を確保することができた。